

「内外教育ウェブ」スタート記念

東京書籍と時事通信の両社長による対談を実施 ～今、求められる教育情報のあり方～

#時事通信社 #内外教育 #社長対談



(左) 東京書籍の渡辺社長 (右) 時事通信社の境社長

2025年1月6日、東京書籍株式会社（以下、東京書籍）と株式会社時事通信社（以下、時事通信）は、教育コンテンツならびに教育事業創造の分野における業務提携契約を締結しました。両社が手がけている教育分野で協業し、経営資源・経営ノウハウの有効活用、事業効率の向上などを図り、時代に適応した教育関係者向けの新たなコンテンツ・事業を創造することが目的です。その第一歩として、時事通信が2025年4月16日に開始する「内外教育ウェブ」の中で「内外教育ナレッジ team up with 東京書籍」で協業を開始します。

これを記念して、3月26日に時事通信社本社（東京都中央区）で、両社長による対談が行われました。対談のダイジェスト版は次ページをご覧ください。なお、対談の詳細については4月8日発行の内外教育（紙版）にも掲載されています。

「内外教育ウェブ」と業務提携への期待について

境社長（以下、境） 教育業界向けの情報誌である『内外教育』は、文部科学省、教育関連団体、研究機関などの教育界の動向をメインテーマとして、掘り下げた解説や特集を掲載しています。これまで紙媒体のみでしたが、今回ウェブ版が加わることでデジタルの良さを活用し、幅広い層に情報を届けていきたいと思っています。

渡辺社長（以下、渡辺） 『内外教育』は1946年創刊という長い歴史を持ち、教育界の中でも非常に定評があるので、連携できることは大変うれしく思います。今は新教育課程の検討が本格化するタイミングでもあり、当社としても様々な情報を収集していく必要があります。同時に学校現場といかに共有していくかも重要なので、その意味でも今回の連携は大変意義のあるものだと思います。



教育とデジタルについて

渡辺 教科書でも紙かデジタルかという話がされますが、デジタルにも良い面があるのは確かなので、それをどのように活かしていけるかを考えています。教科書だけではなく、他の教材や学習リソースもデジタル化することで拡張・連携が可能になり、学びの充実につながると思います。

境 なるほど。私は『内外教育』創刊当時と2025年の今を比べると、やはり情報伝達の形が一番変わったと思っています。このような時代だからこそ、「内外教育ウェブ」では新しい可能性を探っていきたいと考えています。

渡辺 SNSで即時的な情報が飛び交う昨今、だからこそ“落ち着いた情報”を提供していきたいという思いもあります。

境 これまでの『内外教育』に東京書籍との協業によって生まれるコンテンツが加われば、より一層厚みのあるものができると思います。ぜひ多くの方に見ていただきたいです。

東京書籍株式会社 <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>

株式会社時事通信社 <https://www.jiji.co.jp>

内外教育ウェブ <https://edu-naigai.jiji.com/>